

平成30年5月24日

まちづくり委員会資料

請願の審査

請願第17号 高速鉄道3号線の延伸（あざみ野～新百合ヶ丘間）に関する
請願

請願第41号 横浜市営地下鉄3号線延伸（あざみ野～新百合ヶ丘）の早期
着工と完成に関する請願

資料1 横浜市営地下鉄3号線延伸の位置付けについて

資料2 横浜市営地下鉄3号線延伸の概要について

まちづくり局

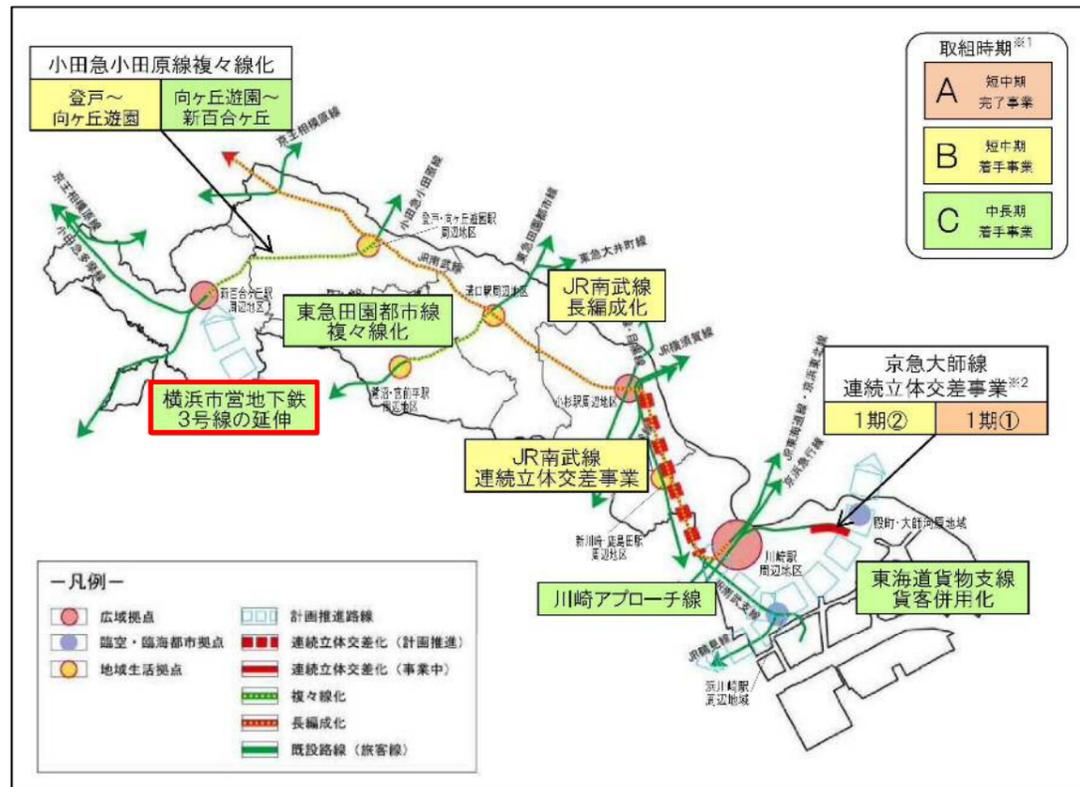
1 川崎市総合都市交通計画の概要

■川崎市総合都市交通計画（平成30年3月）について

- ・鉄道、道路ネットワークから身近な地域交通などに渡る様々な交通課題に対応した、総合的かつ持続可能な交通政策を推進するため、「誰もが利用しやすいこと」、「安全・安心かつ円滑であること」、「持続可能であること」を交通政策の理念に掲げ、平成25年3月に当初計画を策定。
- ・当初計画策定から5年が経過したことから、これまで取り組んできた施策・事業の進捗や成果を踏まえるとともに、上位計画等との整合を図り、交通政策を取り巻く様々な状況の変化に対応するため、平成30年3月に中間見直しを行った。
- ・本計画においては、鉄道交通施策の目標達成に向けて、次のとおり、将来目指すべき鉄道ネットワークを示している。

～交通政策の目標～(鉄道交通施策)

- ①首都圏機能の強化及び活力ある本市都市構造の形成に向けた交通環境の整備
- ②誰もが安全、安心、快適に利用できる交通環境の整備
- ③災害に強い交通環境の整備
- ④地球にやさしい交通環境の整備



川崎市総合都市交通計画における「将来目指すべき鉄道ネットワーク」

取組時期^{※1}の考え方

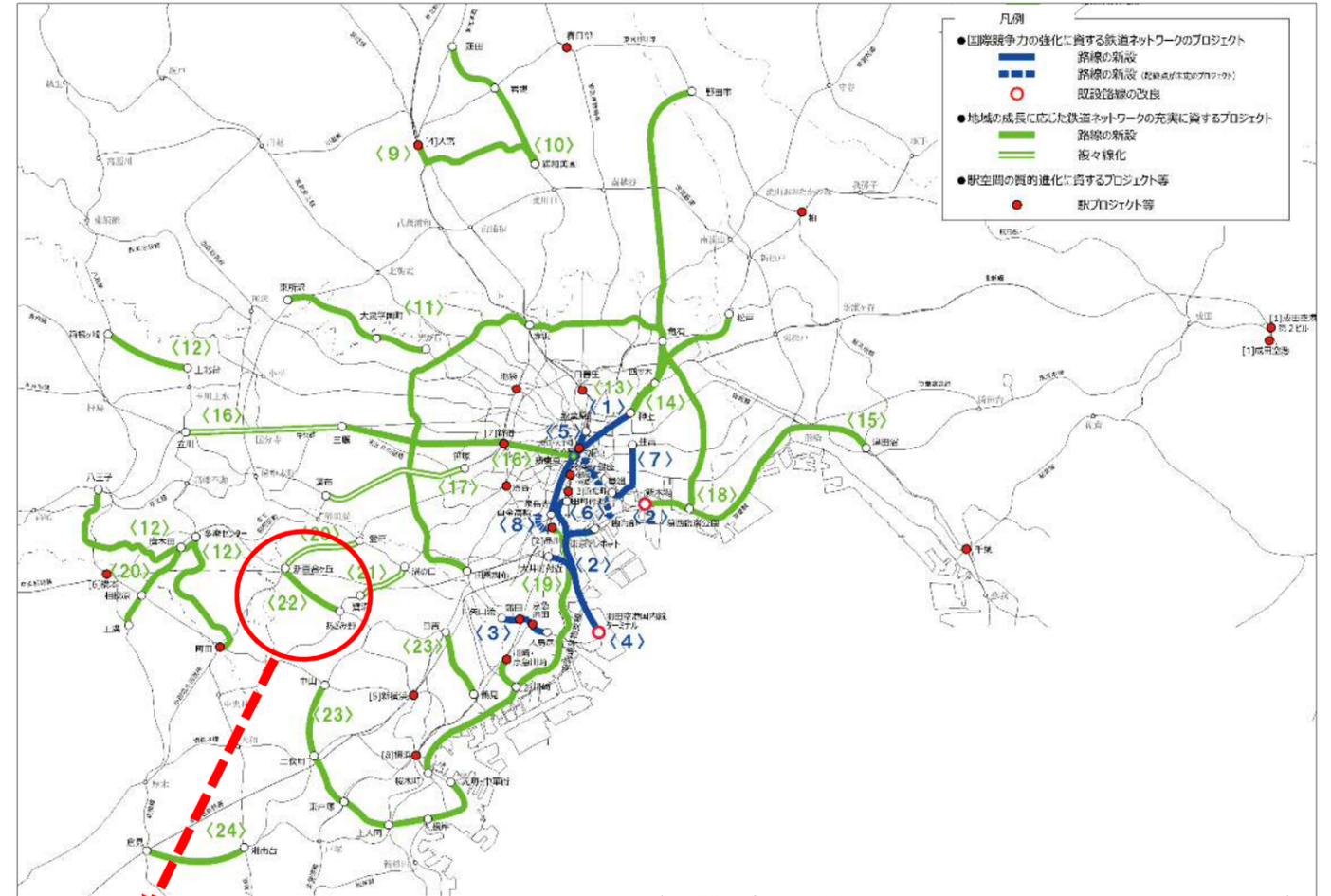
<p>A事業 計画策定から10年内(H34年度まで)に事業完了をめざす</p>	<p>B事業 計画策定から10年内(H34年度まで)に事業着手(事業化)^{※2}をめざす</p>	<p>C事業 計画策定から20年内(H44年度まで)に事業着手(事業化)^{※2}をめざす</p>
--	--	--

※1 各事業については、上位の政策や周辺都市との連携など、事業環境の変化、必要性に応じ、取組時期の変更について適切な対応を図る。
 ※2 着手とは、都市計画事業の認可又はこれに相当する事業化段階(用地取得や工事等に着手する段階)に至ることをいう。ただし、事業化されている京急大師線立体交差事業については各事業区間の工事着手をいう。

2 交通政策審議会(第198号答申)の概要

(1) 交通政策審議会について

- ・交通政策審議会とは、国土交通大臣の諮問に応じて、交通政策に関する重要事項を調査審議すること等を目的として、学識経験者等により構成された機関。
- ・平成28年4月、概ね15年後(2030年(平成42年)頃)を念頭に、「東京圏における今後の都市鉄道のあり方」(交通政策審議会答申第198号)が答申された。
- ・この答申では、東京圏の都市鉄道が目指すべき姿と、それを実現する上で意義のあるプロジェクトが示され、本市に係る路線については、横浜市営地下鉄3号線の延伸を含め提案した路線すべてが位置付けられた。



交通政策審議会第198号答申「東京圏における今後の都市鉄道のあり方」より抜粋

プロジェクト番号	答申路線名	区間	区分
22	横浜3号線の延伸	あざみ野～新百合ヶ丘	延伸

(2) 答申の内容について

- ・横浜市営地下鉄3号線の延伸計画は、「地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクト」として位置付けられた。

【意義】

- ・横浜市北部や川崎市北部と横浜市中心部とのアクセス利便性の向上。

【課題】

- ・横浜市と川崎市に跨る路線であるため、事業化に向けて両市が協調して、費用負担のあり方や事業主体等を含めた事業計画について、合意形成を進めるべき。

1 横浜市営地下鉄3号線の概要



図 横浜市営地下鉄ブルーラインの路線図

【横浜市営地下鉄ブルーライン】

- 以下の2路線をブルーライン（40.4km：全32駅）として一体的に運行
 - 1号線（関内～湘南台） 19.7km
 - 3号線（あざみ野～関内） 20.7km
- 全線複線、6両編成

◆ 3号線延伸計画区間

- あざみ野～新百合ヶ丘 約7km

2 これまでの経緯と取組状況

(1) これまでの経緯

年月	内容
平成12年1月	<ul style="list-style-type: none"> ●運輸政策審議会第18号答申「東京圏における高速鉄道を中心とする交通網の整備に関する基本計画について」 ・横浜3号線の延伸【あざみ野ーすすき野付近ー新百合ヶ丘】 ・あざみ野ーすすき野付近（横浜市域）：A1路線 ・すすき野付近ー新百合ヶ丘（川崎市域）：A2路線
平成23年6月	<ul style="list-style-type: none"> ●横浜市との連携協力に関する覚書の締結 【要旨】 ・両市にまたがる横浜市営地下鉄3号線延伸及びJR南武線連続立体交差化の検討・調査について、相互に連携・協力する。
平成25年3月	<ul style="list-style-type: none"> ●川崎市総合都市交通計画の策定 ・横浜市営地下鉄3号線の延伸をC事業（20年以内に着手を目指す事業）に位置付ける。
平成26年2月	<ul style="list-style-type: none"> ●横浜市による「次世代の総合的な交通体系の構築に向けた検討 横浜市における鉄道を軸とした交通体系について」のとりまとめ ・広域的な交通利便性の向上が期待される路線であり、かつ事業としての採算性が比較的高いことから、優先度の高い路線とする。
平成27年7月	<ul style="list-style-type: none"> ●横浜市と連携し、「横浜市営地下鉄3号線の延伸」を交通政策審議会へ提案。
平成28年4月	<ul style="list-style-type: none"> ●交通政策審議会第198号答申「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」 ・地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクト」として位置付けられる。
平成29年2月	<ul style="list-style-type: none"> ●横浜市長が横浜市会・平成29年第1回定例会で、平成30年度末までの事業化判断を表明
平成30年3月	<ul style="list-style-type: none"> ●川崎市総合都市交通計画の改定 ・当初計画に引き続き、C事業（平成25年3月から）20年以内に着手を目指す事業）に位置付ける。
平成30年度内	<ul style="list-style-type: none"> ●横浜市による事業化判断（予定）

(2) 現在の取組状況

【横浜市】

- 〈都市整備局〉
 - ・関係機関との調整や関連する交通基盤等に関する検討
- 〈交通局〉
 - ・3号線延伸の事業候補者として、鉄道事業者の視点で、ルートなどの基本計画や施工性などのハード面、需要の見通しや事業採算性などのソフト面について検討

【川崎市】

- 〈まちづくり局〉
 - ・横浜市と連携し、本市にとってメリットの大きい計画となるよう、駅や路線に関する評価項目やまちづくりの効果など、3号線のルート等に関する様々な観点からの検討